

動詞・形容詞・副詞における 語種比率（RJF）を用いた文体分析

—— 公人のスピーチ・「天声人語」・女性ファッション誌記事を事例に ——

蓮井理恵

[キーワード：① RJF ②和語語種率 ③非和語 ④文体 ⑤計量研究]

1. はじめに—文体研究と文体の計量的研究

日本語の文体研究は従来、作家各々の書き方に関する研究、“文芸的”か“評論的”な文章か、ないし、文末表現（“デス体”“マス体”“テアル体”）に焦点を当てた研究、人称代名詞の視点や、段落構成による研究、文字数や文節数による一文あたりの長さによった計量的研究など、多くの視点から様々に行われてきた。

その中において、計量的手法による研究として代表的なものに、樺島（1979）が挙げられる。品詞構成の視点から、「形容詞・形容動詞・副詞・連体詞」（Modifier）を分子とし「動詞」（Verb）を分母とした時の品詞「比率」（Ratio）、つまり MVR と名詞の比率を計量し、文体的特徴を分類するという手法である。小野他（2008）や田貝（2012）のように MVR を利用した研究はあるものの、文体研究における計量的手法として新たなものは、多くは出されていない。

しかし、近年、安部（2013）「日本語語彙の歴史的構造変化とそこから見た和漢 2 文体の類型指標」において、動詞・形容語¹⁾・副詞における語種の相違に着目した、RJF（Ratio of Japanese words to Foreign loanwords = 和語語種率）による研究手法が試論として提示され、それを受けて蓮井（2014）において同手法の検証が行われた。安部（2013）並びに蓮井（2014）に関しては次章において簡略に述べることとする。安部氏の提唱した RJF は、語種比率の相違によって、日本語文体における口語的・文語的文体の文体間における段階のないし漸次的な相違を、数値により明確化して捉えようとする手法である。なお、安部氏は安部（2013）での JFR から前述の略称である RJF に略称を変更しているが、詳しくは蓮井（2014）を参照されたい。

更に、試論として提起されたこの RJF を検討・検証したものが蓮井（2014）であり、一定の有効性があることを証明した。しかし、先の論文の中では 6 作品というごく僅かな資料における結果に留まっており、計量的調査にあたって量的に不足している。

そこで、本稿においては視点を新たに、RJF の検証並びに考察を進めることを目的

とする。

2. 先行研究

2.1 安部 (2013)

ここでは、本稿の基盤となる安部 (2013) の論について述べる。安部氏は基礎語彙の歴史研究の中で、日本語が古典的な和語文体から近現代型といえる「体言+機能語」型の文体へと構造的に変化する傾向を見出している。この傾向を基に、語種論の立場から統計的な文体指標として RJF を提唱しているのである。

RJF の算式は以下の通りである。

$$\text{和語語種率 (RJF) (\%)} = \text{和語語数}^2 \div (\text{動詞} \cdot \text{形容語} \cdot \text{副詞の総数}) \times 100$$

このようにして語種を文体指標とすることにより、語種から見た文体の特徴を示すことができる。

2.2 蓮井 (2014)

安部氏の論文における主張を検討・検証したものが蓮井 (2014) である。この中では、「硬い文体」「中間の文体」「やわらかい文体」の3種の文体別に、計6作品に対して RJF を適用させ、分析を試みた。その結果、RJF の数値と文体に相関関係が見られることを証明している。ただし、名詞の扱いや「硬い文体」ないし「漢語文体」の存在などにおいて課題が残っている。

これらを受け、本稿においては、資料の観点を変えながら更なる RJF の検証に臨むことを目的とする。

3. 分析方法並びに対象資料

3.1 分析方法

本稿では、前章で示した安部氏の RJF 算出方法に基づき、文体指標を導く。

なお、分析対象となる語は、動詞 (本動詞のみ)・形容語 (形容詞・形容動詞の総称)・副詞とし、以下の資料文中においては、動詞 = 実線、形容語 = 点線、副詞 = 二重線を引いて示している。更に、非和語³⁾ に関しては該当部分に網掛けを付すこととする⁴⁾。

ただし、分析にあたり、蓮井 (2014) に準拠して以下の語は分析対象から除外している。動詞として単独に出現する「いる」、「おる」、「ある」、「する (「行う」の意味で同義となる「いたす)」、「なる」⁵⁾、そして形容語「ない」である。対象から除外するものの、資料出現箇所にあつては斜体で示すとともに、その出現語数を記す。また、動詞とも動作的な意味が希薄化した連用的修飾句を成す連語ともとれる語については、蓮井 (2014) と同様に『岩波国語辞典』において、連語の表記がある場合には連語として対

象から除外する。今回の資料における連語の一例を挙げると、「にあたる（にあたって、にあたり）」、「に際し（に際して）」、「に対して（に対する）」、「にわたって（にわたる、にわたり）」、「によって（により）」、「において（における）」などがある。

品詞の判定に関しては、前述の『岩波国語辞典』並びに国立国語研究所のコーパス構築にも使用されている形態素解析辞書 UniDic (unidic-mecab) を参考としている。他に、サ変動詞の語種は以下の通りとする。「する」の前接語である語幹が和語の場合は和語として、非和語の場合は非和語として考える⁶⁾。同様に形容語の内、形容動詞に関しても語幹が和語か非和語かにより分類する。

なお、本稿においては、それぞれの資料を文節⁷⁾に区切り、区切った箇所を「/」で示している。また、各資料の選定範囲であるが、文節数が160文節程度⁸⁾となるよう無作為に選択している。これらを踏まえた例を、以下に示す。

一方、/この/厳しい/状況の/中、/被災地で、/また、/それぞれの/避難の/地で、/気丈に/困難に/耐え、/日々/生活している/被災者の/姿には、/常に/深く/心を/打たれ、/この/人々の/ことを、/私どもは/これからも/常に/見守り、/この/苦しみを、/少しでも/分かち合っていく/ことが/大切だ/との/思いを/新たに/しています。/

(4.1.1 「天皇陛下のお言葉 東日本大震災2周年追悼式 平成25年3月11日(月)(国立劇場)」より一部抜粋)

3.2 資料に関して

蓮井(2014)においては、文体の「硬さ」別に資料进行分类し、検討を行った。本稿においては、文体の差に予め考慮せず「媒体のジャンル」別の資料分類から、それらの相違を捉えようと試みる。

そこで、公人スピーチの文体、「天声人語」の文体、女性雑誌の文体を取り扱うこととする。スピーチでは、公人の中でも「やわらかい」話し方をする印象のある皇室より、天皇皇后二者の言葉と、比較として日本における公人の最たる一人である安倍晋三現首相⁹⁾の式辞を分析する。「天声人語」を取り上げる理由としては、「天声人語」を模倣して書く試みや大学入試の場において広く利用されることが挙げられる。更に、本稿で扱う「天声人語」の3資料は、いずれも2011年前後より¹⁰⁾、朝日新聞の広告としてCMや駅看板に利用されたものであり、人々にその内容が知られていると思われる。

最後に、女性ファッション誌における3記事は、最先端であり言葉も新しいものが厳選されているのではないかと考え、資料とした。なお、一定の分量を得られる箇所として、3記事いずれもインタビュー部分を採択している。

以下に対象資料をまとめて記す。

● 公人スピーチの文体

- ① 「天皇陛下のお言葉 東日本大震災2周年追悼式 平成25年3月11日(月)(国立劇場)」
- ② 「皇后陛下のお言葉 平成21年全国赤十字大会一赤十字思想誕生150周年—平成21年5月14日(木)(明治神宮会館)」
- ③ 「安倍晋三首相 平成25年戦没者追悼式 式辞」(2013年8月15日)

● 朝日新聞コラム「天声人語」の文体¹¹⁾：

- ① 「タイタニック号と原発事故」(2012年4月17日付)
- ② 「東日本大震災」(2011年3月12日付)
- ③ 「「LOVE」と「LIKE」」(2010年11月10日付)

● 女性ファッション誌記事の文体：

- ① 「スペシャルインタビュー 深田恭子 オトナになった現在地。」
『MORE』2013年12月号, pp.321~322.
- ② 「キレイに着的スウェット」「ニットは着心地」(いずれも長谷川潤インタビュー記事)
『with』No.394 2013年12月号, pp.72~73.
- ③ 「美女子ネタ RUMIKOさんの美マインド革命、始まる」
『MAQUIA』No.110 2013年12月号, p.28.

4. 文体別資料の分析・考察

4.1 公人スピーチの文体

4.1.1 「天皇陛下のお言葉 東日本大震災2周年追悼式 平成25年3月11日(月)(国立劇場)」

本項においては、東日本大震災2周年追悼式における天皇の式辞について見ていきたい。

本日、／東日本大震災から／2周年を／迎える／にあたり、／ここに／一同と／共に、
／震災／により／かけがえの／ない／命を／失われた／多くの／人々と／その／遺族／
に対し、／改めて／深く／哀悼の／意を／表します。／

2年前の／今日、／東日本を／襲った／巨大地震と／それに／伴う／大津波／により、
／2万人を／超す／死者、／行方不明者が／生じました。／震災後に／訪れた／被災地
では、／永年／にわたって／人々が／築いてきた／ふるさとが／痛々しく／破壊されて
おり、／被災者の／悲しみは／いかばかりか／と／察せられました。／一方、／この／
厳しい／状況の／中、／被災地で、／また、／それぞれの／避難の／地で、／気丈に／

困難に／耐え、／日々／生活している／被災者の／姿には、／常に／深く／心を／打たれ、／この／人々の／ことを、／私どもは／これからも／常に／見守り、／この／苦しみを、／少しでも／分かち合っていく／ことが／大切だ／との／思いを／新たに／しています。／

この度の／大震災／に際して、／厳しい／環境の／下、／専心／救援活動に／当たった／自衛隊、／警察、／消防、／海上保安庁を／始めと／する／国や／地方自治体関係者、／多くの¹²⁾／ボランティア、／そして／原発事故の／対応に／当たった／関係者の／献身的な／努力／に対し、／改めて／深く／ねぎらいたく／思います。／

諸外国からも／実に／多くの／善意が／寄せられました。／物資や／義援金が／送られ、／また、／救援の／人々も／多数／来日し、／日本の／救援活動を／助けてくれました。／また／駐日外国大使など／日本に／住んでいる／外国人を／始め、／災害発生後の／日本を／訪れる／多くの／外国人が、／被災地に／赴き、／被災者を／励ましてくださっている／ことに／感謝しています。／
(155 文節)

文節数 155、該当語数は 48 語である。和語 33 語、非和語 15 語であることから、RJF は 68.8% である。なお、対象から除外した語は 3 語あり、「する」2 語、「ない」1 語であった。

次に、品詞別にどのような語が出現しているのかを、一覧として示すこととする。

〈品詞別出現語一覧¹³⁾〉

動詞 迎える (迎える)、失われる (失われ)、表する (表す)、襲う (襲っ)、伴う (伴う)、超す (超す)、生じる (生じ)、訪れる (訪れ)、築く (築い)、破壊する (破壊さ)、察する (察せ)、耐える (耐え)、生活する (生活し)、打つ (打た)、見守る (見守り)、分かち合う (分かち合っ)、当たる (あたっ)、当たる (あたっ)、ねぎらう (ねぎらい)、思う (思い)、寄せる (寄せ)、送る (送ら)、来日する (来日し)、助ける (助け)、住む (住ん)、訪れる (訪れる)、赴く (赴き)、励ます (励まし)、感謝する (感謝し)

(動詞 29 語、和語 22 語、非和語 7 語、RJF75.9%)

形容語 深い (深く)、痛々しい (痛々しく)、厳しい (厳しい)、気丈な (気丈に)、深い (深く)、大切な (大切だ)、新たな (新たに)、厳しい (厳しい)、献身的な (献身的な)、深い (深く)

(形容語 10 語、和語 6 語、非和語 4 語、RJF60.0%)

副詞 共に、改めて、いかばかり、常に、これから、常に、少し、改めて、実に

(副詞 9 語、和語 5 語、非和語 4 語、RJF55.6%)

4.1.2 「皇后陛下のお言葉 平成 21 年全国赤十字大会—赤十字思想誕生 150 周年—平成 21 年 5 月 14 日 (木) (明治神宮会館)」

ここでは、2009 年における全国赤十字大会での皇后によるスピーチを見る。なお、引用元である宮内庁 HP 内の記述では、「爾来じらい」「如何いかん」「上のほって」と表記されているが、次節と表記を共にするため、論者により読み方に括弧を付している。

本日、／赤十字思想／誕生 150 周年を／記念する／全国赤十字大会に／出席し、／日ごろ／赤十字活動に／携わっておられる／大勢の／皆様と／お会いできます／ことを、／大変／うれしく／思います。／

1859 年 6 月、／ソルフェリーノの会戦／における、／死傷者の／悲惨な／状況を／目の当たりに／した／アンリー・デュナンは、／戦場／において／敵味方を／問わず／救護活動を／進める／ことが、／人道上／不可欠であり、／このためには、／国際的な／救護組織の／設立が／必要である、／と／提唱しました。／この／デュナンの／提言に／基づいて／誕生した／赤十字は、／爾来 (じらい)、／民族、／宗教、／国籍の／如何 (いかん) を／問わず、／広く、／人道、／博愛の／立場から、／さまざまな／活動を／展開しております。／

今も、／世界の／各地には／紛争が／絶えず、／また、／さまざまな／自然災害の／発生は、／被災した／人々の／生活に、／不安と／苦しみを／もたらしめています。／人道的な／援助を／必要と／している／数多くの／人々からの／赤十字への／期待と／要請は、／今後／ますます／高まっていく／ものと／思われます。／

現在、／世界には、／赤十字の／基本原則を／受け入れ、／この／国際的な／仕組みに／参加する／国は、／186 か国に／上 (のほ) っています。／各国赤十字は、／その／任務／として、／紛争や／災害時に、／傷病者の／救護活動を／行う／こと、／平時／における／災害対策、／医療、／保健、／社会福祉、／青少年育成等の／業務を／行う／ことと／並び、／赤十字の／基本原則や、／国際人道法の／普及、／促進を／行う／という、／決して／忘れては／ならない、／大切な／役割を／担っています。／

赤十字の／思想が／世に／提示されてより、／150 年という／記念すべき／この／年を／節目／として、／私どもは、／改めて／赤十字活動の／根底に／ある、／人道への／思いを／深めていきたい／ものと／思います。／ (156 文節)

上記 156 文節において、該当語数 47 語の内、和語は 24 語あり、非和語は 23 語、RJF は約 51.1% である。分析除外語は 4 語 (「なる」「ある」各 1 語、「する」2 語) だった。以下に品詞別の出現語を一覧とする。

〈品詞別出現語一覧〉

動詞 記念する (記念する)、出席する (出席し)、携わる (携わっ)、お会いする (お会い)、思う (思い)、問う (問わず)、進める (進める)、提唱する (提唱し)、基づく (基づい)、誕生する (誕生し)、問う (問わず)、展開する (展開し)、絶える (絶え)、被災する (被災し)、もたらす (もたらし)、高まる (高まっ)、思う (思わ)、受け入れる (受け入れ)、参加する (参加する)、上る (上のぼっ)、行う (行う)、行う (行う)、並び (並び)、行う (行う)、忘れる (忘れ)、担う (担っ)、提示する (提示さ)、記念する (記念す)、深める (深め)、思う (思い)

(動詞 30 語、和語 21 語、非和語 9 語、RJF70.0%)

形容語 うれしい (うれしく)、悲惨な (悲惨な)、不可欠な (不可欠であり)、国際的な (国際的な)、必要である (必要である)、広い (広く)、さまざまな (さまざまな)、さまざまな (さまざまな)、人道的な (人道的な)、必要な (必要と)、国際的な (国際的な)、大切な (大切な)

(形容語 12 語、和語 2 語、非和語 10 語、RJF16.7%)

副詞 大変、爾来、ますます、決して、改めて

(副詞 5 語、和語 1 語、非和語 4 語、RJF20.0%)

4.1.3 「安倍晋三首相 平成 25 年 戦没者追悼式 式辞」(2013 年 8 月 15 日)

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、戦没者の御遺族、各界代表、多数の御列席を得て、全国戦没者追悼式を、ここに挙行致します。

祖国を思い、家族を案じつつ、戦場に倒れられた御霊、戦禍に遭われ、あるいは戦後、遠く異郷に亡くなられた御霊の御前に、政府を代表し、式辞を申し上げます。

いとしい我が子や妻を思い、残していく父、母に幸多かれ、ふるさとの山河よ、緑なせと念じつつ、貴い命を捧げられた、あなた方の犠牲の上に、いま、私たちが享受する平和と、繁栄があります。そのことを、片時たりとも忘れません。

御霊を悼んで平安を祈り、感謝を捧げるに、言葉は無力なれば、いまは来し方を思い、しばし瞑目(めいもく)し、静かに頭を垂れたいと思います。

戦後わが国は、自由、民主主義を尊び、ひたすらに平和の道を邁進(まいしん)してまいりました。

今日よりも明日、世界をより良い場に変えるため、戦後間もない頃から、各国・各地域に、支援の手を差し伸べてまいりました。

内にあっては、経済社会の変化、天変地異がもたらした危機を、幾た

びか、互いに／助け合い、乗り越えて、今日に／至りました。／

私たちは、歴史／に対して／謙虚に／向き合い、学ぶべき／教訓を／深く／胸に／刻みつつ、希望に／満ちた、国の／未来を／切り拓 (ひら) いてまいります。／
世界の／恒久平和に、能うる／限り／貢献し、万人が、心／豊かに／暮らせる／
世を／実現するよう、全力を／尽くしてまいります。／

終わりに／いま／一度、戦没者の／御霊に／平安を、ご遺族の／皆様には、ご健勝を／お祈りし、式辞と／いたします。／ (159 文節)

159 文節、該当語数 57 語中、和語は 45 語、非和語は 12 語あったことから、RJF は約 79.0% であることが分かる。斜体箇所は 5 箇所であり、「ある」2 語、「なる」「ない」「する」(本文では丁重語「いたす」) が各 1 語出現している。

後述するが、公人スピーチ 3 資料の内において、当資料がもっとも和語的な文体であることが言える。

〈品詞別出現語一覧〉

動詞 仰ぐ (仰ぎ)、得る (得)、挙行する (挙行致し)、思う (思い)、案じる (案じ)、倒れる (倒れ)、遭う (遭わ)、亡くなる (亡くな)、代表する (代表し)、申し述べる (申し述べ)、思う (思い)、残す (残し)、念じる (念じ)、捧げる (捧げ)、享受する (享受する)、忘れる (忘れ)、悼む (悼ん)、祈る (祈り)、捧げる (捧げる)、思う (思い)、瞑目する (瞑目し)、垂れる (垂れ)、思う (思い)、尊ぶ (尊び)、邁進する (邁進し)、変える (変える)、差し伸べる (差し伸べ)、もたらす (もたらし)、助け合う (助け合い)、乗り越える (乗り越え)、至る (至り)、向き合う (向き合い)、学ぶ (学ぶ)、刻む (刻み)、満ちる (満ち)、切り拓く (切り拓い)、能う (能うる)、貢献する (貢献し)、暮らす (暮らせ)、実現する (実現する)、尽くす (尽くし)、お祈りする (お祈りし)

(動詞 42 語、和語 32 語、非和語 10 語、RJF76.2%)

形容詞 遠い (遠い)、いとしい (いとしい)、多い (多かれ)、貴い (貴い)、無力な (無力なれ)、静かに (静かに)、ひたすらに (ひたすらに)、良い (良い)、謙虚な (謙虚に)、深い (深く)、豊かな (豊かに) (形容詞 11 語、和語 9 語、非和語 2 語、RJF81.8%)

副詞 しばし、より、互いに、いま (副詞 4 語、和語 4 語、非和語 0 語、RJF100%)

4.1.4 公人スピーチに関する考察

【表 1】は、公人スピーチ 3 資料における全体的な数値結果を一覧にしたものである。この結果一覧において大変興味深い点は、最も「やわらかい」話し方であると思われた皇后の言葉の RJF が 3 番目であることである。文節中の該当語数は天皇のものと同値でありながら RJF は 20% 近く差があり、最も非和語語種率が高いのである。

【表1】 公人スピーチ3資料の数値一覧

資料名	RJF (%)	該当語数	和語数	非和語数	文節数
「天皇陛下のお言葉 東日本大震災2周年追悼式 平成25年3月11日(月)(国立劇場)」	68.8	48	33	15	155
「皇后陛下のお言葉 平成21年全国赤十字大会—赤十字思想誕生150周年—平成21年5月14日(木)(明治神宮会館)」	51.1	47	24	23	156
「安倍晋三首相 平成25年戦没者追悼式 式辞」(2013年8月15日)	79.0	57	45	12	159

【表2】 品詞別に見た公人スピーチ3資料の数値一覧

資料 (発話者)	動詞				形容語				副詞			
	RJF (%)	和語数 (A)	非和語数 (B)	該当語数 (C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)
天皇	75.9	22	7	29	60.0	6	4	10	55.6	5	4	9
皇后	70.0	21	9	30	16.7	2	10	12	20.0	1	4	5
安倍首相	76.2	32	10	42	81.8	9	2	11	100	4	0	4

次に、各資料の品詞別に数値を細分化した、次の【表2】を参照しながら品詞別に見た各資料のRJFの異なりを見たい。【表2】では、資料名は記さずにスピーチの発話者のみを記している。また、「和語数」「非和語数」「該当語数」をそれぞれA・B・Cとし、動詞のみ、その指示する数を明記している¹⁴⁾。

3資料の内、皇后の式辞では、動詞のRJFは7割(30語数、和語数21)であるものの、形容語並びに副詞における同値は順に16.7%、20.0%と2割以下に留まっている。つまり、動詞のみが和語的であり、他2品詞に至っては非和語ともいえるのである。これにより、皇后の式辞は全体的なRJF数値が下がり、和語寄りとはいえ極めて中間的な文体としたスピーチとなっているといえる。

一方、安倍首相の式辞では、動詞のRJFが76.2%というのみならず、形容語81.8%、副詞100%と、総じて和語が多いことから、全体としてのRJF値が高まっている。

最後に、天皇の式辞を見ると、形容語並びに副詞におけるRJFはそれぞれ60%程度であるが、このスピーチにおいて和語比率を高めたものは76%弱を占める動詞であることが分かる。

4.2 「天声人語」

4.2.1 「タイタニック号と原発事故」2012年4月17日付

本項において見る資料は、朝日新聞の広告として駅の看板や電車の広告に使われたものである。

涙という／ものは、／流した／人を／強くも／優しくも／する。／科学技術も／また、／あまたの／悲劇に／鍛えられ、／熟してきた。／海の／安全を／考え直させたのは、／100年前に／大西洋で／沈んだ／タイタニック号だ▼／長さ／270メートルの／豪華客船は／「不沈」／と／うたわれた。／船底は／二重、／下部は／16の／区画に／分割され、／設計上は／2区画に／浸水しても／沈まない。／だが、／すれ違いざまに／水平に／切られるような／事故は／想定外だった▼／氷山に／遭遇した／巨船は／左に／舵を／切るが、／はるかに／大きい／水面下の／氷で／右舵を／90メートル／にわたり／損傷し、／自慢の／防水隔壁は／4割が／破られた。／ただ／上部／客室での／異音や／衝撃は／限られ、／デッキで／様子を／うかがって／カード遊びに／戻る／グループも／あった▼／2時間40分後、／洋上の／ホテルは／船首から／氷海に／没する。／約2200人の／乗客乗員／に対し、／「使う／はずの／ない」／救命ボートの／収容力は／半分、／生存者は／約700人だった。／満点の／星の／下、／無風の／海は／鏡の／静けさながら、／水温は／0度を／割っていた／という▼／いくつもの／別れが／あった。／脱出時に／優先された／女性は、／1等船室では／ほぼ／全員が／助かったのに、／3等では／半数が／逃げ遅れた。／全員分の／ボートを／備え、／避難誘導は／船室で／差を／つけないなど、／惨事を／教訓に／海の／常識と／なった／ルールは／多い▼／さて／1世紀の／後、／福島／の／事故は／どう／語られていよう。／原発を／鍛え直した／試練、／それとも／人類が／原子力を／あきらめる／端緒か。／いずれに／せよ、／ただの／不運に／終わらせては／ならない。／3800メートルの／海底に／眠る、／タイタニックの／伝言である。／

(155文節)

155文節の内、該当語数は37語であった。この内、和語は31語、非和語は6語であり、RJFは約83.8%となる。対象除外語については7語あり、「ある」「する」「なる」がそれぞれ2語、「ない」が1語生じている。

〈品詞別出現語一覧〉

動詞 流す (流し)、鍛える (鍛え)、**熟す (熟し)**、考え直す (考え直さ)、沈む (沈ん)、うたう (うたわ)、分割する (分割さ)、浸水する (浸水し)、沈む (沈ま)、切る (切ら)、**遭遇する (遭遇し)**、切る (切る)、損傷する (損傷し)、破る (破ら)、限る (限ら)、うかがう (うかがっ)、戻る (戻る)、没する (没する)、使う (使う)、割る (割っ)、

優先する（優先さ）、助かる（助かつ）、逃げる（逃げ）、備える（備え）、つく（つけ）、語る（語ら）、鍛える（鍛え）、あきらめる（あきらめる）終わる（終わら）、眠る（眠る）
（動詞 30 語、和語 24 語、非和語 6 語、RJF80.0%）

形容語 強い（強く）、優しい（優しく）、はるかに（はるかに）、大きい（大きい）、多い（多い）
（形容語 5 語、和語 5 語、非和語 0 語、RJF100%）

副詞 ほば、どう
（副詞 2 語、和語 2 語、非和語 0 語、RJF100%）

4.2.2 「東日本大震災」2011年3月12日

ここで扱うコラムは2011年3月に起きた東日本大震災の翌日に書かれ、後に朝日新聞のテレビCMとして使用されたものである。

テレビ画面を／**正視する**／ことが／できなかつた。／がれきと／海水の／**混じり**合つた／津波が、／濁流のように／家を、／畑を、／道路を／**呑みこん**でいく。／**走**っている／車に／波が／**のしか**かる。／ああ、／だれが／**乗**っているのだ。／お父さん？／お母さん？／兄さん／姉さん？／——だれかに／**つ**ながる、／かけがえの／ない／命が／**呑**まれていく▼／マグニチュード8.8の／**猛烈な**／揺れ。／被害は／どれほど／**広**がるのか。／震源から／**遠い**／東京でも／震度5強で／**揺**れた。／黒煙を／**上**げる／ビルが／職場の／窓から／**間近**に／**見**える。／この／一文を／**書**いている／間にも、／大地は／**不気味**に／**揺**れ続けている▼／三陸地方は／津波の／常襲地と／される。／過去の／幾多の／犠牲と／引き換えに／**つ**くられた／**様々**な／手だても、／自然の／**猛威**に／**破**られた。／天変地異の／脅威を／**あ**らためて／**思**う。／各地の／爪痕の／**少**しでも／**小**さい／ことを、／**ただ**ただ／**祈**る▼／日本列島は／プレートの／**ぶ**つかり合う／上に／**乗**る。／その／危うさを／物理学者の／寺田寅彦は／「国土全体が／一つの／**つ**り橋の／上に／**か**かっているような／もの」と／**た**とえた。／「**つ**り橋の／鋼索が、／あすにも／**断**たれるかもしれない」と／警鐘を／鳴らした。／その／鋼索が、／**切**れた▼／気象庁によれば、／東北沖から／関東沖まで、／数百キロにわたって／断層が／**動**いたようだ。／点では／なく／線である。／**予**想される／東海地震や／東南海地震に／**匹敵**する／巨大地震が／**起**きた。／明治以来の／観測史上／国内最大／という▼／夜が／**明**ければ／**さ**らなる／被害が／**確**かめられよう。／生命、／財産、／故郷の／町並み。／**失**われた／ものの／**大**きさに／**打**ちのめされる／人たちとの／絆を／**失**うまい。／**こ**んな／ときに／**つ**なぐための／手が、／私たちの／心には／**あ**る。／（151文節）

151文節中、該当語数は46語、内和語は37語、非和語は9語である。よってRJFは約80.4%となることが分かる。なお、対象除外語は「する」「でき」「さ」、「ない」各2語、「ある」1語の計5語である。

〈品詞別出現語一覧〉

動詞 正視する (正視する)、混じる (混じり)、呑みこむ (呑みこん)、走る (走っ)、のしかかる (のしかかる)、乗る (乗っ)、つながる (つながる)、呑む (呑ま)、広がる (広がる)、揺れる (揺れ)、上げる (上げる)、見える (見える)、書く (書い)、揺れる (揺れ)、つくる (つくら)、破る (破ら)、思う (思う)、祈る (祈る)、ぶつかる (ぶつかり)、乗る (乗る)、かかる (かかっ)、たとえる (たとえ)、断つ (断た)、鳴らす (鳴らし)、切る (切れ)、動く (動い)、予想する (予想さ)、匹敵する (匹敵する)、起きる (起き)、明ける (明け)、確かめる (確かめ)、失う (失わ)、打ちのめす (打ちのめさ)、失う (失う)、つなぐ (つなぐ)

(動詞 35 語、和語 32 語、非和語 3 語、RJF91.4%)

形容語 猛烈な (猛烈な)、遠い (遠い)、間近な (間近に)、不気味な (不気味に)、様々な (様々な)、小さい (小さい)、さら (さらなる)、こんな (こんな)

(形容語 8 語、和語 3 語、非和語 5 語、RJF37.5%)

副詞 あらためて、少し、ただただ (副詞 3 語、和語 2 語、非和語 1 語、RJF66.7%)

4.2.3 「[LOVE] と [LIKE]」 2010 年 11 月 10 日付

本項において扱うものは、朝日新聞のテレビCM・駅や電車内における看板、広告などで利用された。

「LOVE」と「LIKE」は／どう／違うのか。／何で／読んだか／思い出せないののだが、／ある／説明に／感心して／書き留めた／ことがある。／LOVEは／異質な／ものを／求め、／LIKEは／同質な／ものを／求める／心の／作用なのだそうだ▼／辞書的に／正しいかどうかは／おいて、／なるほど／と／思わせる。／言われてみれば「愛」には／不安定な／揺らぎが／あり、／「好き」には／どこか／安定が／ある。／その／安定感は、／自分と／同じ／ものを／相手に／見いだした／心地良さ／かもしれない——。／そんな／あれこれを、／群馬の／いじめの／ニュースに／思い巡らせた▼／自殺した／小6の／少女は、／仲よし／同士が／集まる／給食の／時間に／独りで／食べていたそうだ。／報道を／機に、／東京の／声欄に／「好きな／子グループ」への／意見が／いくつか／載った。／都内の／主婦は／「好きな／子同士で／固まっていないと／みじめなんだ」という／娘の／胸中を／記していた▼／「同調圧力」という／心理学の／言葉を、／最近／よく／耳に／する。／集団の／中で／多数派に／合わせるのを／強い／空気の／ことだ／という。／この／「力」が、／子どもや／若者の／間で／強まる／傾向らしい▼／子らは／仲間はずれを／恐れて、／用心深く／グループに／合わせる。／ベネッセの／調査に／よれば／小学男女の／半数は／「話を／合わせている」そうだ。／自分を／安全地帯に／置く／言動と、／異質な／者の／排除は、／意図は／な

くとも／表と／裏の／危うい／間柄に／ある▼／同調圧力の／強まりは、／はじかれた／者への／想像力を／殺ごう。／冒頭の／定義に／従うなら、／ひいては／「愛」を／失う／ことにも／なる。／LIKEを／悪者に／する／気は／ないが、／用心は／いる。／子どもだけでは／ない。／大人は／なおのこと／と／胸に／留めたい。／(159 文節)

159 文節、該当語数 46 語の内、和語は 39 語、非和語は 7 語であり、RJF は約 84.8% である。対象除外語は、「ある」4 語、「ない」3 語、「する」2 語、「なる」1 語の計 10 語であった。

〈品詞別出現語一覧〉

動詞 違う (違う)、読む (読ん)、思い出す (思い出せ)、感心する (感心し)、書き留める (書き留め)、求める (求め)、求める (求める)、おく (おい)、思う (思わ)、言う (言わ)、見いだす (見だし)、思い巡らす (思い巡らせ)、自殺する (自殺し)、集まる (集まる)、食べる (食べ)、載る (載っ)、固まる (固まっ)、記す (記し)、合わせる (合わせる)、強いる (強いる)、強まる (強まる)、恐れる (恐れ)、合わせる (合わせる)、合わせる (合わせ)、置く (置く)、はじく (はじかれ)、殺ぐ (殺ご)、従う (従う)、失う (失う)、いる (いる)、留める (留め)

(動詞 31 語、和語 29 語、非和語 2 語、RJF93.5%)

形容語 異質な (異質な)、同質な (同質な)、辞書的に (辞書的に)、正しい (正しい)、不安定な (不安定な)、そんな (そんな)、好きな (好きな)、好きな (好きな)、みじめな (みじめな)、用心深い (用心深く)、異質な (異質な)、危うい (危うい)

(形容語 12 語、和語 7 語、非和語 5 語、RJF58.3%)

副詞 どう、よく、ひいては (副詞 3 語、和語 3 語、非和語 0 語、RJF100%)

4.2.4 朝日新聞コラム「天声人語」に関する考察

【表3】は前節(4.1.4)同様に、「天声人語」3 コラムにおける全体的な数値結果を一覧にしたものである。「天声人語」3 コラムを通じて、RJF が 8 割を超えており、この

【表3】「天声人語」3 資料の数値一覧

コラム名	RJF (%)	該当語数	和語数	非和語数	文節数
「タイタニック号と原発事故」 (2012 年 4 月 17 日付)	83.8	37	31	6	155
「東日本大震災」(2011 年 3 月 12 日付)	80.4	46	37	9	151
「「LOVE」と「LIKE」」(2010 年 11 月 10 日付)	84.8	46	39	7	159

点からすると「天声人語」は和語文体ないし和語文体に近い中間的な文体であるといえるかもしれない。

次に、各コラムを品詞別に見ることとする。3品詞それぞれのRJFを求めたものが【表4】である。

【表4】品詞別に見た「天声人語」3資料の数値一覧

コラム名	動 詞				形容語				副 詞			
	RJF (%)	和語数 (A)	非和語数 (B)	該当語数 (C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)
「タイタニック号と原発事故」	80.0	24	6	30	100	5	0	5	100	2	0	2
「東日本大震災」	91.4	32	3	35	37.5	3	5	8	66.7	2	1	3
「「LOVE」と「LIKE」	93.5	29	2	31	58.3	7	5	12	100	3	0	3

【表4】を見ると、「タイタニック号と原発事故」のコラムでは、副詞だけでなく形容語においても非和語が全く使用されていない点が見て取れる。そのため、動詞のRJF80%から全体のそれは更に高まっていることが分かる。更に、「「LOVE」と「LIKE」」では動詞内RJFが93%強と最も高く、副詞もRJF100%の数値結果である。

【表3】の全体的な数値としては、これら2コラムを数%下回る形で「東日本大震災」がある。動詞のRJFは9割を超えており、動詞によって全体のRJFも大きく底上げされているものの、形容語は非和語的であり、副詞にも非和語が確認できる。

4.3 女性ファッション誌記事の文体

4.3.1 「スペシャルインタビュー 深田恭子 オトナになった現在地。」『MORE』2013年12月号

「『こんなに／悪い／顔を／した／こと／ない……』／と／試写後、／あまりの／自分の／残酷さに／びっくりしました（笑）」／

ミステリーホラーの／ヒット作を／映画化した／『ルームメイト』で／深田さんが／演じたのは、／二面性を／持つ／ミステリアスな／麗子役。／劇中では／初共演と／なる／北川景子さんを／ビタしたり、／杖で／押し倒したりと、／柔和で／女性らしい／彼女が／演じたとは／思えないほど、／過激な／シーンが／満載だ。／

「私は／アクションを／演じた／ことが／あまり／ないので／すごく／難しかったですが、／景子ちゃんの／演技に／かなり／救われました。／倒れる／シーンでも、／パー

と／自ら／飛んでくれるので、／『そんなに／強く／押しちゃったかな』／と／びっ
くりしたくらい(笑)。／とにかく／声の／出し方も／動き方も／機敏で／美しく、／
『体で／演技を／するって／こういう／ことなんだ!／と／すごく／刺激を／受けまし
た』／

14歳で／デビューし、／第一線を／駆け抜けてきた／深田さんも／今年で／31歳。
／多くの／同年代女子と／同様、／30歳という／節目を／過ぎ、／気持ちがが／徐々に
／変化してきている／ことを／実感している。／

「本当に／普通の／ことなのですが、／最近／ちゃんと／太陽を／浴びる／ことが
／気持ちいい／と／実感しています。／なので／よく／散歩を／しますね。／若いこ
ろは／“お日さまの／下を／歩くだけで／元気に／なる”／なんて／知らなかつたし、
／考えも／しませんでした。／そんな／自分／に対して、／『なんだか／人間っぽいな』
／って／思えるんです。／もちろん／日焼けの／対策は／きちんと／して、／たっぷり
／健康的に／日の／光を／浴びたいですね」／

食事／に関しても／そう。／「毎日／料理を／するのが／楽しい!／と／思うほど
／得意な／方では／ない」／けれど、／健康／に対して／興味が／向くように／なり、
／できるだけ／自炊を／しよう／と／心がけている。／ (157文節)

157文節中、該当語数は65語、和語45語、非和語20語より、RJFは69.2%となる。
対象除外とした語は13語であり、「する」7語、「なる」「ない」各3語であった。

〈品詞別一覧〉

動詞 びっくりする(びっくりし)、映画化する(映画化し)、演じる(演じ)、持つ(持
つ)、ピンタする(ピンタし)、押し倒す(押し倒し)、演じる(演じ)、思う(思え)、
演じる(演じ)、救う(救わ)、倒れる(倒れる)、飛ぶ(飛ん)、押す(押し)、びっ
くりする(びっくりし)、受ける(受け)、デビューする(デビューし)、駆け抜ける(
駆け抜け)、過ぎる(過ぎ)、変化する(変化し)、実感する(実感し)、浴びる(浴びる)、
実感する(実感し)、歩く(歩く)、知る(知ら)、思う(思え)、浴びる(浴び)、思う(思
う)、向く(向く)、心がける(心がけ)

(動詞 29語、和語 21語、非和語 8語、RJF72.4%)

形容語 こんな(こんなに)、悪い(悪い)、ミステリアスな(ミステリアスな)、柔和
な(柔和で)、女性らしい(女性らしい)、過激な(過激な)、すごい(すごく)、難しい
(難し)、そんな(そんなに)、強い(強く)、機敏な(機敏で)、美しい(美しく)、すご
い(すごく)、気持ちいい(気持ちいい)、若い(若い)、元気な(元気に)、そんな(そ
んな)、人間っぽい(人間っぽい)、健康的な(健康的に)、楽しい(楽しい)、得意な(得
意な)

(形容語 21語、和語 12語、非和語 9語、RJF57.1%)

【副詞】あまり、かなり、バーンと、自ら、とにかく、徐々に、本当に、ちゃんと、よく、
 なんだか、もちろん、きちんと、たっぷり、そう、できるだけ

(副詞 15 語、和語 12 語、非和語 3 語、RJF80.0%)

4.3.2 長谷川潤インタビュー記事『with』No.394 2013年12月号

ママに／なつて／もうすぐ／1年。／子育て／＋／モデル業、／そして／最近では／
 モデル以外にも／やりたい／アイデアが／広がっている／様子で、／ますます／忙しく／
 ／エネルギーな／毎日を／送る／潤ちゃん。／ちょっとした／空き時間に／する／
 ことを／聞いてみると、／意外にも／オタク気質な／一面が！／

「ここ／5年ぐらい／世界中の／人の／ブログを／見て、／お気に入りの／写真を／
 何千枚と／集めて／ムードボードを／作ってるの！／そこで／わかってきたのは、／
 『おしゃれ♥』／と／思う／人に／共通してるのは、／みんな／“エフォートレス
 (effortless)”／という／ことだった。／直訳すると／“努力したように／見えない”
 ／という／意味なんだけど、／私が／好きな／仏版 VOGUE の／編集長／エマニュエル・
 アルトも、／ファッションライターの／ミロスラヴァ・デュマも、／スタイリング
 の／裏に／実は¹⁵⁾／綿密な／計算が／あるのに、／それを／まったく／感じさせない
 ／着こなしを／してるの。／そして、／それが／できるように／なると／『誰もが／
 おしゃれに／なれるんだ』って／わかった。／自分の／身長や／顔立ち／(童顔とか／
シャープな／切れ長 eye だとか)を／よく／知り、／受け入れて、／最終的に／それ
 を／活かした／スタイリングを／心がければ、／“その人ならではの／スタイル”に！
 ／自分に／似合う／ものを／知る／ことと／同じように／“自分に／似合わない／も
 の”を／知る／ことで／『流行ってるから』という／理由だけの／服選びを／しなくなるし、
 ／自分に／似合う／落としどころを／上手く／見つけられるように／なる／気が
 ／する。／最初は／誰かの／真似でも、／最終的に／自分の／オリジナルへと／変えて
 いければ／いい。／そう／思って、／インスピレーションは／常に／いろんな／ところ
 から／拾ってくるの！」／

定番でも／素敵に／見える♥／“潤ちゃんスタイル”の／魅力は、／そんな／おしゃ
 れ哲学に／あったのでした。／

「いろんな／ことを／リセットする／いい／タイミングだった」と、／自身の／妊娠・
 出産を／振り返り、／新しい／自分に／出会うべく、／長かった／髪を／バッサリ／
切って／再スタートした／長谷川潤ちゃん。／ (160 文節)

160 文節中、該当語数 58 語、和語 41 語、非和語 17 語より、RJF は 70.7% である。
 対象除外語は、「する」6 語 (する 4 語、やる、できる 各 1 語)、「なる」4 語、「ある」2

語の、計 12 語である。

〈品詞別一覧〉

〔動詞〕 広がる (広がっ)、送る (送る)、聞く (聞い)、見る (見)、集める (集め)、作る (作っ)、わかる (わかっ)、思う (思う)、共通する (共通し)、直訳する (直訳する)、努力する (努力し)、見える (見え)、感じる (感じ)、わかる (わかっ)、知る (知り)、受け入れる (受け入れ)、活かす (活かし)、心がける (心がけ)、似合う (似合う)、知る (知る)、似合う (似合わ)、知る (知る)、流行る (流行っ)、似合う (似合う)、見つける (見つけ)、変える (変え)、思う (思っ)、捨う (捨っ)、見える (見える)、リセットする (リセットする)、振り返る (振り返り)、出会う (出会う)、切る (切っ)、再スタートする (再スタートし) (動詞 34 語、和語 28 語、非和語 6 語、RJF82.4%)

〔形容語〕 忙しい (忙しく)、エネルギッシュな (エネルギッシュな)、意外な (意外に)、オタク気質な (オタク気質な)、好きな (好きな)、綿密な (綿密な)、シャープな (シャープな)、最終的な (最終的に)、上手い (上手く)、最終的な (最終的に)、よい (いい)、素敵な (素敵に)、そんな (そんな)、よい (いい)、新しい (新しい)、長い (長かつ) (形容語 16 語、和語 8 語、非和語 8 語、RJF50.0%)

〔副詞〕 もうすぐ、ますます、実は、まったく、よく、そう、常に、バツサリ

(副詞 8 語、和語 5 語、非和語 3 語、RJF62.5%)

4.3.3 「美女子ネタ RUMIKO さんの美マインド革命、始まる」『MAQUIA』No.110 2013 年 12 月号

16 年前、／まだ／化粧品業界で／アーティストブランドという／存在が、／今ほど
／認知されてない／時代に／RUKMIKO さんは／「RMK」を／立ち上げた。／以降、
／手に／取った／誰もが／難しい／テクニク／なしでも／きれいに／なれる、／機能
的で、／革新的な／コスメを／次々と／発表し続けてきた。／この間に／RMK と／
／RUMIKO さん／という／存在が、／日本の／女の子の／美意識を／変える／きっかけ
づくりを／してきた／と／いっても／決して／過言では／ないはず。／そして／今、
／彼女は／RMK を／離れ、／新たに／ビューティクリエーター／としての／活動を／ス
／スタートさせた。／

「実は／クリエイティブディレクター時代は、／迷いが／生じるのが／いやだったの
で／他の／ブランドの／プロダクトは／一切／見ないように／していたんです。／今、
／純粋に／メイクアップアーティストとして／いろんな／化粧品に／触れる／機会が／
／増えて、／すごく／刺激を／もらうし、／メイクアップって／やっぱり／楽しいな／と
／改めて／思います。／今までは／製品を／通して／自分の／メッセージを／伝えてき

た／つもりだったけど／これからは／もっと／直接／講演とか／メイクアップ講座で、
 ／自分が／培った／ものを／伝えていきたい／と／考えています」／
 力強く／話す／RUMIKO さんには、／次の／ビジョンが／既に／明確に／ある。／
 「メイクアップの／具体的な／ノウハウを／伝えるのも／もちろんだけど、／メイク
 だけで／きれいに／なれるとは／思ってないんです。／姿勢とか／しぐさとか／体調と
 か、／ポジティブさとか、／ハッピーに／生きてるかとか……。／内面も／密接に／関
 わってくる。／私自身／NY で／生活してきて、／いろんな／考え方に／出会ったし、
 ／経験を／してきたので／そこで／学んだ／ライフスタイルや／ポジティブな／考え方
 を／伝えていきたい。／きれいに／なれる／生き方を／伝えたい／と／思ってるん
 です」／

例えば／赤い／口紅を／手に／取ったとき／「つけたくない、／っていう／気分だっ
 たら／無理に／つけなくても／いい。／けれど／ちょっとでも／挑戦したいな、／と／
思ったら／トライして欲しい。／メイクなんて／すぐ／オフできるんだから。／

(163 文節)

163 文節、該当語数 71 語の内、和語は 44 語、非和語は 27 語であり、RJF は 62.0%
 である。なお、対象除外語は「なる」「する」共に 3 語、「ない」「ある」各 1 語の計 8
 語であった。

〈品詞別一覧〉

動詞 認知する (認知さ)、立ち上げる (立ち上げ)、取る (取っ)、発表する (発表し)、
 変える (変える)、いう (いっ)、離れる (離れ)、スタートする (スタートさ)、生じる
 (生じる)、見る (見)、触れる (触れる)、増える (増え)、もらう (もらう)、思う (思
 い)、通す (通し)、伝える (伝え)、培う (培っ)、伝える (伝え)、考える (考え)、話
 す (話す)、伝える (伝える)、思う (思っ)、生きる (生き)、関わる (関わっ)、生活
 する (生活し)、出会う (出会っ)、学ぶ (学ん)、伝える (伝え)、伝える (伝え)、思
 う (思っ)、取る (取っ)、つける (つけ)、つける (つけ)、挑戦する (挑戦し)、思う (思っ)、
 トライする (トライし)、オフする (オフ)

(動詞 37 語、和語 29 語、非和語 8 語、RJF78.4%)

形容語 難しい (難しい)、きれいな (きれいに)、機能的な (機能的で)、革新的な (革
 新的な)、新たな (新たに)、いやな (いやだっ)、純粋な (純粋に)、すごい (すごく)、
 楽しい (楽しい)、力強い (力強く)、明確な (明確に)、具体的な (具体的な)、きれい
 な (きれいに)、ハッピーな (ハッピーに)、密接な (密接に)、ポジティブな (ポジテ
 ィブな)、きれいな (きれいに)、赤い (赤い)、無理な (無理に)、よい (いい)

(形容語 20 語、和語 8 語、非和語 12 語、RJF40.0%)

【副詞】まだ、次々と、決して、実は、一切、やっぱり、改めて、もっと、直接、既に、もちろん、例えば、ちょっと、すぐ（副詞 14 語、和語 7 語、非和語 7 語、RJF50.0%）

4.3.4 女性ファッション誌記事に関する考察

まずは、女性ファッション誌 3 誌の結果をまとめた【表 5】を参照したい。以下の各表では、それぞれ記事元である雑誌名を記す。

【表 5】女性ファッション誌 3 記事の数値一覧

雑誌名	RJF (%)	該当語数	和語数	非和語数	文節数
『MORE』	69.2	65	45	20	157
『with』	70.7	58	41	17	160
『MAQUIA』	62.0	71	44	27	163

【表 5】において RJF を見ると、60% 台～70% 台と、和語寄りの中間的な文体であることが分かる。

女性ファッション各誌を通して、3 資料に共通している点は、「バーンと」「バツサリ」など、カタカナによる表記が散見される点である。更に、「デビューする」「エネルギーシユな」「スタートする」など、狭義での外来語を用いた表現も幾つか見られる点において、これまでに見た文体と異なりを見せている。

続いて、品詞別に見た時の女性ファッション誌 3 記事の数値一覧を【表 6】にまとめた。

【表 6】品詞別に見た女性ファッション誌 3 記事の数値一覧

雑誌名	動詞				形容語				副詞			
	RJF (%)	和語数 (A)	非和語数 (B)	該当語数 (C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)
『MORE』	72.4	21	8	29	57.1	12	9	21	80.0	12	3	15
『with』	82.4	28	6	34	50.0	8	8	16	62.5	5	3	8
『MAQUIA』	78.4	29	8	37	40.0	8	12	20	50.0	7	7	14

この表による諸数値で、3 誌中異色ともいえるのは『MAQUIA』の記事である。『MORE』『with』の 2 誌では、各品詞において程度差はあるものの、和語寄りの文体が目立つ。また、該当語数も『with』のみ他と副詞において半数ほどの差があるが、総該当語数を見ると『MORE』62 語、『with』58 語と大きく離れてはいない。しかし、

『MAQUIA』の記事のみ、該当語数が71語と多いのである。それに加え、副詞のRJFが5割、形容語に至っては4割という数値から、全体のRJFも62.0%と、中間の文体になっている。

5. 結論

【表7】において、取り扱った全9資料とそのRJF値、非和語語種率を併せて掲載する。同表より、全9資料中、最もRJFの低い資料は、公人のスピーチである皇后の式辞であり、RJFが最高値を示したのは「天声人語」より「[LOVE]と[LIKE]」のコラムであることが見て取れる。なお、両者にはそれぞれ色を付している。

同表より、「天声人語」は全てRJFが8割を超えており、4.2.4節においても述べた通り、この点から新聞内の一コラムであるものの「天声人語」は和語文体であるということが指摘できる。

上記表における女性ファッション誌3誌の資料名であるが、【表5】【表6】同様にそれぞれ女性誌名を記載している。『MAQUIA』による資料で該当語数が71語と突出しているのみならず、女性ファッション3誌とも、他の6資料と比べて該当語数が多い点において特徴的である。これらはRJF値も7割前後であり、和語文体に近い中間の文体であることが分かる結果となった。

更に、公人のスピーチにおいては「話者が誰か」によってRJFの結果に違いが生じ

【表7】9資料の数値一覧

文体	資料名	RJF (%)	該当語数	和語数	非和語数	非和語語種率 (%)	文節数
公人のスピーチ	天皇の式辞	68.8	48	33	15	31.2	155
	皇后の式辞	51.1	47	24	23	48.9	156
	安部首相の式辞	79.0	57	45	12	21.0	159
「天声人語」	「タイタニック号と原発事故」(2012年4月17日)	83.8	37	31	6	16.2	155
	「東日本大震災」(2011年3月12日)	80.4	46	37	9	19.6	151
	「[LOVE]と[LIKE]」(2010年11月10日)	84.8	46	39	7	15.6	159
女性ファッション誌	『MORE』	69.2	65	45	20	27.6	157
	『with』	70.7	58	41	17	29.3	160
	『MAQUIA』	62.0	71	44	27	38.0	163

ている点で特徴的である。4. 1. 4 節において述べたように、女性らしく、やわらかい話し方をするように思われた皇后の式辞がもっとも非和語的であり、政治家である現首相の式辞が最も和語的である。現首相の式辞については、「天声人語」3 コラムに次いで全体の4 番目にRJF が高く、また、約8 割という数値からも和語文体であることがいえる。これには、その内容だけでなく、公的な場において硬い文体と非常にやわらかい和語のいずれを使うかという選択に関する個人ないし男女の違いがある可能性もある。特に、女性らしさを敢えて除去するために硬い表現を使用していることもあるかもしれないが、その点については更なる考察が必要だろう。天皇皇后共に非和語語種率が上位である点から、皇室におけるRJF の特徴も今後見ていけるように思われる。

次に、全資料の品詞別結果を【表8】にまとめて示す。

【表8】品詞別に見た9 資料の数値一覧

資 料	動 詞				形 容 語				副 詞			
	RJF (%)	和語数 (A)	非和語数 (B)	該当語数 (C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)	RJF (%)	(A)	(B)	(C)
天皇の式辞	75.9	22	7	29	60.0	6	4	10	55.6	5	4	9
皇后の式辞	70.0	21	9	30	16.7	2	10	12	20.0	1	4	5
首相の式辞	76.2	32	10	42	81.8	9	2	11	100	4	0	4
「タイタニック号と原発事故」	80.0	24	6	30	100	5	0	5	100	2	0	2
「東日本大震災」	91.4	32	3	35	37.5	3	5	8	66.7	2	1	3
「[LOVE]と[LIKE]」	93.5	29	2	31	58.3	7	5	12	100	3	0	3
『MORE』	72.4	21	8	29	57.1	12	9	21	80.0	12	3	15
『with』	82.4	28	6	34	50.0	8	8	16	62.5	5	3	8
『MAQUIA』	78.4	29	8	37	40.0	8	12	20	50.0	7	7	14

【表8】では、各品詞においてRJF が最高値並びに最低値である箇所の色を付している。【表7】より、全体のRJF が84.8%である「天声人語」のコラム「[LOVE]と[LIKE]」においては、動詞並びに副詞が全資料中で最高値であるが、形容語のみ見ると58.3%とやや中間的である。一方、RJF51.1%と最小値であった皇后のスピーチは、全品詞において最低値であったことが分かる。中でも副詞において同値が50%未満であるのは、9 資料中、この皇后によるスピーチのみである。副詞のRJF が50%と、その次に数値が低い『MAQUIA』の記事に関しても、全体のRJF は62.0%と低い数値を示している。

続いて、【表8】において品詞別に該当語数を比較すると、他の6資料の形容語平均数が9語であるのに対し、女性ファッション誌3記事は形容語において平均18語、同様に、副詞は6資料が平均4語であるのに対し、3記事平均は12語と、それぞれ特徴的な結果を示している。カタカナによる表記や外来語が散見されるのも女性ファッション誌に著しいものであった。副詞に関しては、天皇によるスピーチも『with』と一語差である。このような品詞ごとの出現語数並びにその中身については、今後更に考察を加えたい。

更に、【表7】【表8】の二表から述べられることは、動詞のRJFは全てにおいて7割を超えており、それが全体でのRJFを5割以上に留める一因となっている点である。動詞の数値が7割を切らないことについては動作を表す際、意味を限定した非和語より漠然とした和語の方が使われやすいことに起因すると思われる。「思う」「行う」「みる」といった語が多く資料に複数用いられていた点も、この理由からであるといえるであろう。

公人のスピーチに限って見れば形容語・副詞における差から、二品詞中の数値差が全体のRJFへの数値を左右することが示唆されうる。しかし、「天声人語」の「東日本大震災」や『MORE』からは同様にいえないため、今後の検証が必要となる。

動詞におけるRJFの最低値並びに、動詞・形容語・副詞間での数値の相関関係については今後の課題としたい。

最後に、参考として蓮井(2014)におけるRJF他、数値の一覧を【表9】に挙げる。表の「漢語数」、「漢語語種率」は、本稿における「非和語数」「非和語語種率」である。

【表9】 蓮井(2014)における6資料の数値一覧

文体	作品名	RJF (%)	総数	和語数	漢語数	漢語語種率 (%)
やわらかい	「ごんぎつね」	97.4	39	38	1	2.6
	「あらしのよるに」	94.7	38	36	2	5.3
中間	『ミクロ経済学入門講義』	56.8	37	21	16	43.2
	「平成19年版防衛白書」	45.2	42	19	23	54.8
硬い	「日本国憲法」	23	39	9	30	77
	「平成18年6月8日物価安定下の世界経済、世界経済の見通し」	36.6	41	15	26	63.4

文体の「硬さ」としては、【表7】の結果はいずれも、【表9】の「やわらかい」ないし「中間」文体に位置され、「硬い」文体を示すには至っていない。しかし、「何におい

て使用されている」文体かという視点から RJF の検討を行うことにより、「中間文体」と「やわらかい文体」間にある、段階的相違を見ることができ、更に各品詞と文体との間に相関関係がある可能性が窺えたといえる。

6. おわりに—今後の課題

最後に、今後の課題を挙げたい。まずは、蓮井 (2014) に挙げられている 4 点の課題にも挙げられていることであるが、サ変動詞の取り扱いや、形容語でまとめている形容詞・形容動詞の「和語」「非和語」の基準をどのようにするか、という問題である。例えば、天皇の式辞において「新たな」という表現が出現した。これは、品詞としては形容動詞であるものの、今回は定めた基準に従い和語として扱った。RJF の特性が「和語 VS. 広義外来語」であるためである。しかし、この語は「和語」と「体言+機能語」の対立からみると、後者に当てはまる。どのような特徴を捉えようとするかにより分類が異なり、割合にも違いが生まれることを意味しており、考察すべき点であろう。また、RJF では含まれていない連体詞の扱いも考える必要があるといえる。

一方において、本稿にあたり分析対象の資料数を増やすことにより、文体の差を明確化できる可能性が見出された他、品詞別に RJF を見ることによって現代語や文体資料の特徴をより明瞭にできるように思われる。今後は、より多くの資料を分析並びに検討することにより、種々の課題を達成していくことが望まれる。

注

- 1) 形容語とは、形容詞並びに形容動詞の総称である。本稿でもこの語を踏襲し、使用する。
- 2) 動詞・形容語・副詞の 3 品詞における和語語数を指す。
- 3) 先の論文 (蓮井 (2014)) においては「漢語」としていたが、「和語 VS. 広義外来語」という RJF の定義に基づき、呼称を「非和語」に統一する。
- 4) 安部 (2013) による表記に基づいている。
- 5) 「前者の存在動詞 3 語 (「いる」「おる」「ある」) は、存在ないし存在の状態を示し、漢語や外来語での言い換えは「存在する」程度となる。更に、文体に関わらず多用されることから、これらの語を加えて比較を行うことは、文体差の比較としては却って不向きとなる。以上の理由により、除外するものである。同様に、「ない」「する」「なる」に関しても、漢語や外来語での言い換えに乏しいこと、文体に関係なく多用されることから、分析対象外とする。」更に、「動詞連用形に「テ」のついた「ておく」「ていく」「てある」のような補助動詞用法の例も、分析対象を本動詞に限っていることから除外する。」(共に蓮井 (2014))
- 6) 「一般に「和語+する」はやわらかい文体として、「漢語+する」は硬い文体として

受け止めるように思われ」るため。(蓮井 (2014))

- 7) 『明鏡国語辞典』において文節とは、「日本語の言語単位の一つ。文を実際のことばとして不自然にならない程度に区切ったときの最小の単位」である。本稿でもこれに倣って、文を自然に区切ったところを文節の分け目とする。なお、連語に関しては、前の語と合わせて全体で一文節と見做した。また、引用資料内における引用も、その箇所全体で一文節とする。
- 8) 最少 151 文節、最多 163 文節である。
- 9) 2013 年 11 月 16 日現在。以下、文中では「安倍首相」とのみ記す。
- 10) 詳細な時期は不明である。
- 11) なお、各コラムに題名が無いため、本稿論者により、その記事を表す題を付している。
- 12) 本稿においては名詞として扱う。本稿の他の資料でも同様の扱いとする。
- 13) 蓮井 (2014) 同様、「それぞれの終止形 (出現形)」という表記を行う。なお、本稿においては、副詞のみ変化が無いものとして出現形 = 辞書形のみ記載する。
- 14) 品詞別の表については以後も同様の表記をする。
- 15) UniDic (unicid-mecab) において「名詞 + 助詞」、MeCab でも「接続詞」という結果であったが、『明鏡国語辞典』を始め副詞の扱いがなされており、文脈から見てここでは副詞とする。

文献一覧

①参考文献一覧

- 安部清哉 (2009) 「第 3 章 意味から見た語彙史—“パーツ化” “名詞優位化”」(安部清哉・金水敏共編『シリーズ日本語史 2 語彙史』岩波書店)
- 아베 세이야 (安部清哉) (2013) 「일본어 어휘의 역사적 구조변화와 그 관점에서 살펴본 일한 (和漢) 두 문체의 유형지표」『일본어학과 일본어교육 3 어휘』, 한미경 편, J & C. (그래프가脱落している)
- (安部清哉 (2013) 「日本語語彙の歴史的構造変化とそこから見た和漢 2 文体の類型指標」韓美卿編『日本語学・日本語教育』J & C (大韓民国): 아베세이야 (安部清哉) (2013) の日本語版 (그래프가脱落している))
- 小野望・田中省作・持尾弘司 (2008) 「母語学習者コーパスの基礎調査」『筑紫学園大学・短期大学部人間文化研究所年報』(18), pp.27-36, 筑紫学園大学・短期大学部人間文化研究所
- 樺島忠夫・寿岳章子 (1979) 「文体の統計的観察」(山口仲美『論集 日本語研究 8 文章・文体』有精堂)
- 斎賀秀夫 (1997) 「語構成の特質」(斎藤倫明・石井正彦共編『日本語研究資料集 語構成』ひつじ書房)

- 田貝和子 (2012) 「日本語の計量的分析：教養ゼミナールでの試みから」『秋田工業高等専門学校研究紀要』(47), pp.106-111, 秋田工業高等専門学校
- 蓮井理恵 (2014 予定) 「動詞・副詞・形容語の「和語対非和語語種比率」(RJF) による現代日本語文体の計量的比較考察」『学習院大学国語国文学会誌』57, 学習院大学文学部 国語国文学会
- 古田香織 (2008) 「女性誌を読み解く—女性誌と世代」『言語文化論集』30 (1), pp.61-73. 名古屋大学大学院 国際言語文化研究科
- 北原保雄編 (2010) 『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- 金田一春彦他編 (1978 初版, 1988) 『学研 国語大辞典 第二版』学習研究社

②使用資料一覧

本稿において対象とした資料は以下の通りである。

●スピーチの文体：

- ①「天皇陛下のお言葉 東日本大震災2周年追悼式 平成25年3月11日(月)(国立劇場)」
(宮内庁 <http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/okotoba/okotoba-h25e.html#D0311> 閲覧：2013年11月12日)
- ②「皇后陛下のお言葉 平成21年全国赤十字大会—赤十字思想誕生150周年—平成21年5月14日(木)(明治神宮会館)」
(宮内庁 <http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/okotoba/okotoba-h21sk.html#D0812> 閲覧：2013年11月9日)
- ③「安倍晋三首相 平成25年戦没者追悼式 式辞」
(朝日新聞デジタル <http://www.asahi.com/politics/update/0815/TKY201308150077.html> 閲覧：2013年11月8日)

●「天声人語」の文体：次の3点は、全て下記より引用している。

- ①タイタニック号と原発事故 (2012年4月17日)
- ②東日本大震災 (2011年3月12日)
- ③「LOVE」と「LIKE」(2010年11月10日)
(朝日新聞 天声人語 Web <http://tenjin.asahi.com/zenbun.html#po04> 閲覧：2013年11月9日)

●女性ファッション雑誌記事の文体：

- ①文・桧山梢 (2013) 「スペシャルインタビュー 深田恭子 オトナになった現在

地。」『MORE』2013年12月号, pp.321~322.

②文・杉山ゆり「キレイに着るスウェット」「ニットは着心地」（いずれも長谷川潤インタビュー記事）『with』No.394 ウィズ12月号, pp.72~73. 講談社

③文・浅田智子（2013）「美女子ネタ RUMIKO さんの美マインド革命、始まる」『MAQUIA』No.110 2013年12月号, p.28. 集英社

（はすい・りえ 博士前期課程）